2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	生理学Ⅱ	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	月曜1・2限
担当教員	白木　豊				
授業概要	本授業では、まず生理学Ⅰで学習した細胞機能について復習を行う。特に、理学療法士として必ず理解しておくべき筋の収縮機構や筋の力学的特性について、再講義を通して理解を深める。さらに、感覚、血液、循環、呼吸といった各系統について学び、臨床現場で必要となる全身的な生理機能の知識を身につけてもらいたい。				
学習目標	1感覚:①体性感覚の受容、伝導路について概説ができる　②視覚・聴覚・平衡感覚・味覚・嗅覚の特殊感覚について説明できる　2血液:①血球、血漿の働きについて説明できる　②止血、凝固について概説ができる　3循環:①心電図の成因について説明ができる　②心周期について説明できる　③心臓のポンプ作用とその調節について概説できる　④血圧について説明ができる、特に血圧の調節システムについて詳述できる　4呼吸:①腹式呼吸と胸式呼吸の違いについて説明ができる　②呼吸気量の区分について説明ができる　③肺におけるガス交換の説明ができる　④呼吸の調節について概説ができる				

回数		担当教員
1回目	生理学Ⅰ復習　細胞の機能：静止膜電位、活動電位の定義、成因を確実に理解する	白木　豊
2回目	生理学Ⅰ復習　筋収縮　筋力学:筋収縮のメカニズム、筋収縮の形式について理解を深める	白木　豊
3回目	感覚総論:体性感覚(一般感覚)の種類と、感覚が起こるメカニズムについて理解する	白木　豊
4回目	特殊感覚　視覚・聴覚・平衡感覚・味覚・嗅覚:各特殊感覚の受容器の構造と機能について理解する	白木　豊
5回目	血液総論:体液のなかでの血液の位置づけ、血液の働きについて理解を深める	白木　豊
6回目	血液各論　血球の機能・免疫・凝固・血液型:各血球の働き、免疫への寄与、止血機構について理解する	白木　豊
7回目	心臓と循環　総論:主に解剖学的見地から心臓・血管系の位置づけの理解を深める	白木　豊
8回目	心臓と循環　心電図:心電図の成因を心筋細胞の電気的変化との関連で理解する	白木　豊
9回目	心臓と循環　ポンプ作用:心周期について理解した後、心室の圧一容積関係、心機能曲線について学ぶ	白木　豊
10回目	心臓と循環　血圧の調節:血圧が変化する要因を学んだのち、血圧の神経性、体液性調節について理解する	白木　豊
11回目	心臓と循環　静脈還流、臓器循環:中心静脈圧(右心房圧)と心拍出量の相関について理解する	白木　豊
12回目	呼吸とガスの運搬　総論:呼吸器系を解剖学的に総覧した後、呼吸の働き(外呼吸・内呼吸)について理解する	白木　豊
13回目	呼吸とガスの運搬　呼吸運動:腹式・胸式呼吸のメカニズムを理解をする	白木　豊
14回目	呼吸とガスの運搬　呼吸気量:呼吸気量の分画について学ぶ。さらに、障害時に同分画の変化について理解する	白木　豊
15回目	呼吸とガスの運搬　ガス交換・呼吸の調節:肺におけるガス交換(酸素と二酸化炭素のやりとり)の概要を理解する	白木　豊

教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学 生理学 第5版. 医学書院　配布資料
成績評価	定期テスト70%、小テスト30%

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

講義は、教科書を基本とした資料をパワーポイントで説明しながら進める(資料は配布します)。また、毎回授業内容についての自習小テストを施行する。ほとんどの事柄がはじめて学ぶことであるので、当然理解出来ないことが多いと思う。
したがって、出来る限り講義を受けたその当日に、自習小テストを利用した復習を行い、疑問点を洗い出してもらいたい。(各20分)
講義および自習小テストの内容についての質問に関しては、講義内はもちろん講義外もできるだけていねいに対応したいと思っている。
学生諸君の能動的な講義姿勢を期待する。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	生理学Ⅲ	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	月曜1・2限
担当教員	白木　豊				
授業概要	生理学Ⅲでは、「体内環境」を維持するための重要なシステムである泌尿器系、生命維持に必須の消化・吸収、さらに神経系と並んで生体の維持を行っている内分泌系について講義する。また、内分泌に関連させて「種を保存する働き」である生殖器系についても言及したい。さらに代謝・体温・運動生理学について概要を講義する。				
学習目標	1尿の生成：①ネフロンの構造と走行について説明できる　②腎小体におけるろ過の条件について説明できる　③尿細管における再吸収・分泌について概説できる　④クリアランスについて述べることができ、腎機能との関連について説明できる　⑤酸塩基平衡とその異常について説明できる　2消化・吸収　①管内消化と終末消化について概説できる　②消化管ホルモンについて説明できる　③腸肝循環について概説できる　3内分泌　①視床下部－下垂体系について説明できる　②各種ホルモンの作用機序について説明できる　③ホルモンの調節機序について概説ができる　4代謝・体温・生殖器系・運動生理のそれぞれについて概説ができる				

回数		担当教員
1回目	尿の生成と排泄　総論:腎臓の組織学的構造を理解するとともに、腎臓の機能について総括的な概念を得る	白木　豊
2回目	尿の生成と排泄　尿の生成：腎小体でのろ過の条件、尿細管各部でのろ過液の修飾について理解する	白木　豊
3回目	尿の生成と排泄　クリアランス：腎クリアランスの概念を理解したうえで、腎機能との関連を学ぶ	白木　豊
4回目	尿の生成と排泄　酸塩基平衡：体内のpHを一定に保つ働きを腎臓と呼吸から理解する	白木　豊
5回目	消化と吸収　総論：消化・吸収の概要、特に機械的消化と化学的消化について理解する	白木　豊
6回目	消化と吸収　管内消化、膜消化、吸収：消化管の各臓器における消化を学んだ後、膜消化・吸収について理解する	白木　豊
7回目	消化と吸収　膵臓・胆嚢・肝臓：消化器系の付属臓器である膵臓・胆嚢・肝臓の働きを理解する	白木　豊
8回目	内分泌　総論：内分秘腺と各ホルモンを理解した上で、ホルモンの作用機序の違いを理解する	白木　豊
9回目	内分泌　視床下部－下垂体系：視床下部ホルモン－下垂体ホルモンの関連を下垂体前葉と後葉に分けて理解する	白木　豊
10回目	内分泌　各論①：甲状腺・副腎・膵臓の各ホルモンの作用について理解する	白木　豊
11回目	内分泌　各論②：性腺・消化管ホルモンその他のホルモンの作用について理解する	白木　豊
12回目	代謝・体温：体内代謝の概要を理解すると同時に、代謝と関係の深い体温の調節機構について理解を深める	白木　豊
13回目	生殖器系：女性の性周期をホルモンとの関係で理解する。男性の精子の形成、勃起、射精の概要を理解する	白木　豊
14回目	運動生理：運動時における生体の変化を、循環・呼吸・代謝との関連で理解する	白木　豊
15回目	まとめ	白木　豊

教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学 生理学 第5版. 医学書院　配布資料
成績評価	定期テスト70% 、小テスト30%

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

講義は、生理学Ⅱと同様、教科書を基本とした資料をパワーポイントでプレゼンテーションしながら進める。また、毎回授業内容についての自習小テストを施行する。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	検査・測定法Ⅱ	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	月曜　3、4限
担当教員	平澤 勉　平間 亮				
授業概要	高齢者に対して日常的に機能維持の訓練が必要になります。その訓練を担当する理学療法士は、適切な訓練を実施するにあたり問題点を把握する必要があり問題点を抽出するためには本講義である評価の知識が必要です。主に関節可動域検査、徒手筋力検査、持久力、疼痛、脳神経、協調性といった正常動作において欠かせない能力の評価を学んでいきます。				
学習目標	①拘縮の種類、原因、治療方法を理解する。 ②関節可動域検査の目的を理解し、正確に測定しその結果を解釈することができる。 ③徒手筋力検査の目的を理解し、正確に測定しその結果を解釈することができる。 ④正常な運動と仕組み、障害を知るために持久力、疼痛、脳神経、協調性を理解し、正確に測定しその結果を解釈することができる。				

回数		担当教員
1回目	ROMの基礎、拘縮(皮膚性・筋性・靭帯性・腱性拘縮・関節性拘縮)について	平澤 勉
2回目	筋緊張について	平澤 勉
3回目	持久力について(運動耐容能、エネルギー供給機構、持久力の評価)について	平澤 勉
4回目	持久力について(運動負荷試験の指標、目的、測定項目)について	平澤 勉
5回目	協調性について(運動失調、振戦、ジスメトリア、変換運動障害、運動分解など)について	平澤 勉
6回目	協調性について(小脳の構造、協調性検査の実際)	平澤 勉
7回目	感覚について　※爪楊枝、ポケットティッシュ持参	平間 亮
8回目	疼痛について　※爪楊枝、ポケットティッシュ持参	平間 亮
9回目	脳神経について　※爪楊枝、ポケットティッシュ持参	平間 亮
10回目	筋力検査の分類(客観・主観的評価)、種類(粗大、徒手:MMT)について	平間 亮
11回目	小テスト①	平澤 勉/平間 亮
12回目	MMT(股関節屈曲、屈曲 外転 外旋と膝屈曲、伸展)	平澤 勉/平間 亮
13回目	MMT(股関節伸展別法、外転、屈曲位からの股関節外転)	平澤 勉/平間 亮
14回目	MMT(股関節内転、外旋、内旋、膝関節屈曲、伸展)	平澤 勉/平間 亮
15回目	ROM-T(股関節屈曲、伸展、外転、内転)	平澤 勉/平間 亮
16回目	ROM-T(股関節外旋、内旋、膝関節屈曲、伸展)	平澤 勉/平間 亮
17回目	小テスト②	平澤 勉/平間 亮
18回目	MMT(足関節底屈、足関節の背屈と足の内がえし)	平澤 勉/平間 亮
19回目	MMT(足の内がえし、足の底屈を伴う足の外がえし)	平澤 勉/平間 亮
20回目	MMT(足趾)	平澤 勉/平間 亮
21回目	ROM-T(足関節屈曲(底屈)、伸展(背屈)、外がえし、内がえし)	平澤 勉/平間 亮
22回目	ROM-T(足関節外転、内転、回外、回内、足趾)	平澤 勉/平間 亮
23回目	MMT(体幹伸展、骨盤挙上)	平澤 勉/平間 亮
24回目	MMT(体幹屈曲、回旋)	平澤 勉/平間 亮
25回目	ROM-T(体幹)	平澤 勉/平間 亮
26回目	MMT、ROM総復習	平澤 勉/平間 亮
27回目	小テスト③	平澤 勉/平間 亮
28回目	ROM-TとMMTの実技試験に向けての練習	平澤 勉/平間 亮
29回目	最終実技テスト(実技試験①)	平澤 勉/平間 亮
30回目	最終実技テスト(実技試験②)	平澤 勉/平間 亮

教科書及び参考書	新・徒手筋力検査法 第10版、理学療法評価学 第6版
成績評価	実技テスト30%、定期テスト40%、小テスト30%、出席(欠席1回1.5点減点、遅刻1回1点減点)

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

検査・測定法は臨床において頻繁に実施する手技であり、国家試験においても多く出題される学問ですので理解することが必要です。そのためには事前に基礎科目である解剖学、生理学、運動学をしっかりと復習しておく必要があります。

なお、本講義は座学のみでなくグループワークや実技を交えて展開していきます。そのため学生の皆さんの積極性、協調性が重要となります。全員で講義を作り上げましょう。

授業内容及び進度は、空き教室の兼ね合い、理解度に応じ生理学の振り返り、コロナウイルス感染症など必要に応じ変更する場合があります。その際は事前に連絡します。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	解剖学Ⅲ	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	火曜・1限
担当教員	王静舒				
授業概要	解剖学Ⅲでは、運動器系の一部を分担する。筋系とともに運動器系を形成する骨格系の基礎を学ぶ。主に、骨、軟骨、関節、靭帯等の骨格系の構造である。前期の細胞・組織などの知識を思い出しながら、系統的に学ぶ。				
学習目標	①骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明でき、さらに理解を深める。 ②運動器の構造と機能に関して、骨・軟骨・関節・靭帯の構造と機能を説明できる。 ③四肢の骨・関節を説明でき、主な骨の配置を図示できる。 ④頭蓋、脊柱、胸郭、骨盤の構成を説明できる。				

回数		担当教員
1回目	骨格総論(Page27-35):骨の構造や発生	王 静舒
2回目	骨格各論A頭蓋①(Page36-42):外面・内面から見た頭蓋	王 静舒
3回目	骨格各論A頭蓋②(Page42-47):新生児の頭蓋冠・頭蓋を構成する個々の骨	王 静舒
4回目	骨格各論B脊柱＆C胸郭(Page48-57):脊柱と胸郭の構成と特徴＆個々の骨の名称や数	王 静舒
5回目	骨格各論D上肢の骨(Page58-67):上肢帯＆自由上肢骨、骨の名称や数	王 静舒
6回目	骨格各論E下肢の骨①下肢帯(Page68-72):骨の名称や数、骨盤の構成	王 静舒
7回目	骨格各論E下肢の骨②自由下肢骨(Page72-82):個々の骨の名称や数	王 静舒
8回目	関節靭帯総論(Page85-101):連結の種類、関節の構造と機能、関節の分類＆機能	王 静舒
9回目	関節靭帯各論A頭蓋の連結(Page102-106):顎関節の特徴、脊柱の連結	王 静舒
10回目	関節靭帯各論B脊柱、脊柱と頭蓋及び胸郭の連結①(Page107-109)脊柱と頭蓋の連結	王 静舒
11回目	関節靭帯各論B脊柱、脊柱と頭蓋及び胸郭の連結②(Page109-111):胸郭の連結	王 静舒
12回目	関節靭帯各論C上肢の連結①(Page112-121):上肢帯の連結と自由上肢骨の連結	王 静舒
13回目	関節靭帯各論C上肢の連結②(Page121-126):手の連結	王 静舒
14回目	関節靭帯各論D下肢の連結①(Page126-136):下肢帯の連結と自由下肢骨の連結	王 静舒
15回目	関節靭帯各論D下肢の連結②(Page137-143):足の連結	王 静舒

教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学[専門基礎分野]　解剖学(第6版)(医学書院)
成績評価	期末試験(筆記試験)(50%以上)、小テスト及び提出課題(35%以下)、出席(15点)などで総合的評価

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

①授業前の予習は大事！初耳の専門用語は繰り返し音読してみる
②授業中、配布資料を参考してメモやノートをしっかり取る
③授業中の質問＆問題を積極的に考えて答える
④授業後の復習はしっかりやり、課題を期限内に提出する
⑤毎回の小テストは真面目に挑んでみる

2026年度後期　理学・作業名古屋専門学校シラバス

科目名	保健体育	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	火曜2・3限
担当教員	春田典三				
授業概要	・健康スポーツの授業を通じて体力の保持増進を図り、生涯スポーツに繋がる知識を習得すること を目的とし、スポーツを楽しむ心を養う。				
学習目標	・各種スポーツを通じて体力の向上を目指し、健康な学生生活を過ごす事を第一目標とする。 ・さらに、各種目の特徴を理解し、楽しさを覚え、生涯スポーツに繋がる教養を身につける事を 第二の目標とする。				

回数		担当教員
1回目	オリエンテーション	春田典三
2回目	バレーボール・基本練習(前半)	春田典三
3回目	バレーボール・ゲーム(後半)	春田典三
4回目	バレーボール・応用練習(前半)	春田典三
5回目	バレーボール・ゲーム(後半)	春田典三
6回目	卓球・基本練習(前半)	春田典三
7回目	卓球・ゲーム(後半)	春田典三
8回目	卓球・応用練習(前半)	春田典三
9回目	卓球・ゲーム(後半)	春田典三
10回目	バスケットボール・基本練習(前半)	春田典三
11回目	バスケットボール・ゲーム(後半)	春田典三
12回目	バスケットボール・応用練習(前半)	春田典三
13回目	バスケットボール・ゲーム(後半)	春田典三
14回目	ドッジボール・基本練習	春田典三
15回目	ドッジボール・チーム対抗戦	春田典三

教科書及び参考書	特になし
成績評価	出席30%、授業貢献度50%(授業準備、後片付け、チームワーク等) 実技試験20%

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

1. 授業の時は体育・スポーツに相応しい服装で参加すること。
2. 欠席・遅刻・早退は原則厳禁です。やむを得ない場合は、届を提出すること。
3. 企画・運営の際、仲間意識を高め、準備をしっかり行えるように努めること。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	体表解剖学Ⅱ	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	水曜1・2限
担当教員	村田 薫克　平澤 勉　平間 亮				
授業概要	理学療法士に必要な知識(骨、関節、筋肉など)を教科書や標本を基に学生自らの身体を使って、見て、触って、(実際に体に書いて)覚えてもらいます。前期は主に下肢について学んだと思います。後期は上肢・体幹を中心に触察を行っていきます。また、前期に学習した解剖学や生理学、運動学の知識を随時取り入れ、今までに習ったことが人体にかかわっていることを身をもって感じられるような授業にしていきます。				
学習目標	①解剖学、運動学的基礎知識の向上と定着を図る。 ②骨、関節、筋肉の構造と機能を立体的に覚える。 ③実際に人体から骨、関節、筋肉をイメージし、どのように関節が動くのかを想像することができる。 ④身体を触っただけで、どこをの骨、何の筋肉を触っているのかをイメージできるくらいに触察に慣れてもらう。 ⑤実技試験を全員が一発でクリアする。				

回数		担当教員
1回目	基礎知識の向上　骨、筋の構造及び名称（体幹前面　スケッチ①)	村田/平澤/平間
2回目	基礎知識の向上　骨、筋の構造及び名称（体幹前面　スケッチ②)	村田/平澤/平間
3回目	基礎知識の向上　骨、筋の構造及び名称（体幹後面　肩甲骨　スケッチ①)	村田/平澤/平間
4回目	基礎知識の向上　骨、筋の構造及び名称（体幹後面　肩甲骨　スケッチ②)	村田/平澤/平間
5回目	小テスト①・小テスト①の復習	村田/平澤/平間
6回目	応用知識の向上　触診(骨:肩甲骨、鎖骨、上腕骨、脊柱棘突起)	村田/平澤/平間
7回目	応用知識の向上　触診(筋:棘上筋　棘下筋)	村田/平澤/平間
8回目	応用知識の向上　触診(筋:小円筋　大円筋)	村田/平澤/平間
9回目	応用知識の向上　触診(筋:大菱形筋　小菱形筋)	村田/平澤/平間
10回目	応用知識の向上　触診(筋:僧帽筋　上・中・下部線維)	村田/平澤/平間
11回目	応用知識の向上　触診(筋:三角筋　前・中・後部線維)	村田/平澤/平間
12回目	応用知識の向上　触診(筋:広背筋)	村田/平澤/平間
13回目	基礎知識の向上　骨、筋の構造及び名称（上肢屈筋群　スケッチ①)	村田/平澤/平間
14回目	基礎知識の向上　骨、筋の構造及び名称（上肢屈筋群　スケッチ②)	村田/平澤/平間
15回目	小テスト②・小テスト②の復習	村田/平澤/平間
16回目	応用知識の向上　触診(骨:烏口突起、上腕骨、橈骨、尺骨)	村田/平澤/平間
17回目	応用知識の向上　触診(筋:上腕二頭筋、上腕筋、腕橈骨筋)	村田/平澤/平間
18回目	応用知識の向上　触診(筋:橈側手根屈筋、尺側手根屈筋、長掌筋)	村田/平澤/平間
19回目	基礎知識の向上　骨、筋の構造及び名称（上肢伸筋群　スケッチ①)	村田/平澤/平間
20回目	基礎知識の向上　骨、筋の構造及び名称（上肢伸筋群　スケッチ②)	村田/平澤/平間
21回目	小テスト③・小テスト②の復習	村田/平澤/平間
22回目	応用知識の向上　触診（骨:肩甲骨、橈骨、尺骨、手根骨)	村田/平澤/平間
23回目	応用知識の向上　触診（筋:上腕三頭筋、円回内筋、回外筋)	村田/平澤/平間
24回目	応用知識の向上　触診（筋:長橈側手根伸筋、短橈側手根伸筋、尺側手根伸筋)	村田/平澤/平間
25回目	上肢復習①起始停止・作用・神経・骨名称等(実技試験対策)	村田/平澤/平間
26回目	上肢復習②起始停止・作用・神経・骨名称等(実技試験対策)	村田/平澤/平間
27回目	かるた大会①	村田/平澤/平間
28回目	かるた大会②	村田/平澤/平間
29回目	最終実技テスト(実技試験①)	村田/平澤/平間
30回目	最終実技テスト(実技試験②)	村田/平澤/平間

教科書及び参考書	・プロメテウス解剖学アトラス解剖学総論/運動器系　白Tシャツを持参 ・標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　解剖学　第5版 ・運動療法のための機能解剖学的触診技術　上肢、下肢、体幹　改訂第2版 ・触察：白Tシャツ(ペンで記入します)、(ポスカ[参考]、バスタオル)
成績評価	定期試験(30%)実技試験(50%)　小テスト(20%)　※出席について(欠席1回1.5点減、遅刻1回1点減) ※授業態度不良も減点、かるた大会で加点あり

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

骨・関節・筋肉を実際に触って、体に描いてもらうことでで、骨や筋の形、部位名を覚えてもらうのはもちろん、どの筋によってどの関節が動くのかを理解できるように積極的に取り組んでいただきたいです。
なお、体表解剖学は前期の下肢と同様に、理学療法士の基礎となる大切な授業です。理学療法士になるための勉強は日々の積み重ねです。また人を相手にする仕事は教科書に当てはまらないことが多々あります。よって自ら行動し、自ら学ぶ気持ちをもって取り組まなくては医療技術に関する実技は身につかないので、真摯に勉強してください。
※実技科目のため授業内容及び進度は必要に応じ変更する場合があります。その際は事前に連絡します。

ソーシャルワーク演習Ⅰ(3221)	大兼健寛	併修科目・必修 1年 PT水曜3限

授業のねらい	ソーシャルワーク演習Ⅰは「ソーシャルワークの基礎」という位置づけとなり、個人、集団、地域といった、いわゆるソーシャルワーカーが支援の対象とするクライエントシステムについて基礎的な理解を図るとともに、働きかけの方法としての基本的なコミュニケーション、システムの特徴について学修する。
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。

設題				
	レポート 1	ソーシャルワーク実践の対象(ケース、グループ、コミュニティ)とその特徴、支援者に求められる技術について述べよ。	下書	10月28日授業内締切
	(ポイント)	ケース・グループ・コミュニティそれぞれの特性を整理したうえで、自己覚知、基本的なコミュケーション技術を前提とする必要な技術についてまとめること。	清書	12月2日授業内締切
	レポート 2			
	(ポイント)			
	科目終了試験	学修のポイント・2　ソーシャルワークの展開過程と専門的視点について 学修のポイント・5　生活の基盤としてのコミュニティに関する理解について 学修のポイント・6　プレゼンテーションについて	科目終了試験12月23日(水)実施予定	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	オリエンテーション、自己覚知について
2	基本的なコミュニケーションの方法、面接技法
3	ケースワークの特徴について
4	グループワークの特徴について
5	コミュティーワークの特徴について
6	下書きレポート作成
7	学修のポイント・2　ソーシャルワークの展開過程と専門的視点について
8	1250字レポート作成＆締め切り
9	学修のポイント・5　生活の基盤としてのコミュニティに関する理解について
10	1250字レポート作成＆締め切り
11	清書レポート作成
12	学修のポイント・6　プレゼンテーションについて
13	1250字レポート作成＆締め切り
14	科目終了試験対策
15	「ソーシャルワーク演習Ⅰ(3221)」科目終了試験(持ち込み不可)
	期末試験

成績評価		
	出席率	３０点　80%　以上、出席すること。欠席1回－10点、遅刻1回は－3点
	期末試験	５０点　論述式、持込み:可
	授業内評価	２０点　レポート・1250字レポートの提出状況・内容、授業態度を考慮して評価する。

備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

ボランティア論(1151)	小澤　登生男	併修科目・必修
		PT1年
		水曜4限

授業のねらい

厚生労働省は、ボランティア活動は個人の自己実現への欲求や社会参加意欲が充足される意味を持つ自発的・自主的活動であると謳っている。そして、その活動によって社会貢献、福祉活動等への関心が高まり、様々な活動する人たちとの支え合いの体験や、交流する地域社会づくりの進展など、大きな意義を持っているとしている。また、ボランティア活動を通じて実務能力やコミュニケーション力、リーダーシップの向上が期待できるとしている。ボランティア活動は、福祉社会貢献・災害復興支援・自然環境保全・地域イベント貢献など多様な分野で行われている。本授業では、ボランティア活動についての基礎理論を学修した上で、現場でのニーズの把握、適切な組織構成などの実践理論を、様々なボランティア活動例を基に学修し、ボランティアに関心を持ち、活動への参加意欲の芽生えや支え合いの大切さ、地域社会づくりの整備について効果的なボランティア活動を行うために必要なことを考察していく。

教科書・資料		適時プリントテキストを配布する。		
設題	レポート 1	ボランティアの組織化・国際化と、求められるボランティア活動について述べよ。	下書き	10月7日(水)授業内
	(ポイント)	テキスト p55～59 の各図表からわかることや考えられることをもとに、ボランティアの組織化と国際化について述べること。また、活動主体と活動領域の両面から自己の体験や考えを踏まえ、求められるボランティア活動について考察すること。なお、テキストの丸写しや、単なる感想文にならないよう注意する。	清書	11月4日(水)授業内
	レポート 2		下書き	
	(ポイント)		清書	
	科目終了試験	1.子どもと子育て世代に対するボランティア活動について	科目終了試験 12月16日(水) 実施予定	
		2.障がいのある人や高齢者等の様々な人に対するボランティア活動について		
		3.災害時のボランティア活動について		
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	社会における生活課題の解決にとってのボランティアの存在・ボランティアとは
2	ボランティアの歴史・ボランティアに関する研究動向
3	ボランティア活動の範囲
4	まとめ&下書きレポート作成①
5	下書きレポート作成②
6	学修のポイント・1　子どもと子育て世代に対するボランティア活動について
7	学修のポイント・1　レポート作成＆提出〆切
8	清書レポート作成①
9	清書レポート作成②
10	学修のポイント・2　障がいのある人や高齢者等の様々な人に対するボランティア活動について
11	学修のポイント・2　レポート作成＆提出〆切
12	学修のポイント・3　災害時のボランティア活動について
13	学修のポイント・3　レポート作成＆提出〆切
14	科目終了試験対策
15	「ボランティア論(1151)」科目終了試験
	期末試験

成績評価	出席率	３０点　80%以上出席すること。欠席は－10点。遅刻は－3点。
	期末試験	５０点　持ち込み:可、 論述式
	授業内評価	２０点　レポート・1250字のまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮して加算する。

備　考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、提出期限を意識して提出をすることを心掛けてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中、無断で携帯電話を使用すること、飲食や居眠りすることは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	解剖学Ⅳ	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	木曜・2限
担当教員	丹羽　千春				
授業概要	神経系の解剖学を学習する。神経系は、個体の生存や種族の維持のために内外の環境変化に適応できるよう発達してきた精緻な器官である。収集された情報を処理する中枢神経系、情報や指令の伝達に関与する末梢神経系について理解する。				
学習目標	神経系の基本的な構成について理解する。 脊髄および脳の構造を理解し、機能と関連づけて説明できる。 脊髄神経・脳神経・自律神経系の基本構成を学ぶ。 脊髄神経と脳神経の走行、特に上肢・下肢に分布する神経叢の走行と傷害されやすい部位を学ぶ。				

回数		担当教員
1回目	神経系総論(P.225-P.236)	丹羽 千春
2回目	中枢神経系①脊髄(P.237-P241)	丹羽 千春
3回目	中枢神経系②脳幹(P.241-P.247)	丹羽 千春
4回目	中枢神経系③小脳(P.247-P.251)	丹羽 千春
5回目	中枢神経系④大脳:間脳・大脳半球の表面と区分・皮質と髄質(P.251-P.259)	丹羽 千春
6回目	中枢神経系⑤大脳:大脳皮質の局在性・大脳基底核(P.259-P.264)	丹羽 千春
7回目	中枢神経系⑥上行性神経路(P.264-P.271)下行性神経路(P.271-P.273)	丹羽 千春
8回目	小テスト(前半)	丹羽 千春
9回目	末梢神経系①脊髄神経:頸神経・頸神経叢(P.274-P.278)	丹羽 千春
10回目	末梢神経系②脊髄神経:腕神経叢(P.278-P.285)	丹羽 千春
11回目	末梢神経系③脊髄神経:胸神経・腰神経叢・仙骨神経叢・尾骨神経叢(P.285-P.296)	丹羽 千春
12回目	末梢神経系④脳神経-1(P.296-P.308)	丹羽 千春
13回目	末梢神経系⑤脳神経-2(P.296-P.308)	丹羽 千春
14回目	末梢神経系⑥自律神経(P.308-P.312)	丹羽 千春
15回目	小テスト(後半)	丹羽 千春

教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　解剖学　第6版、医学書院
成績評価	期末試験80%、授業内確認テスト及び提出課題20%、出席・授業態度は試験点数不足時に考慮

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

しっかりと予習・復習をし、必要な内容を簡潔にまとめたり、イラストや図でイメージ学習を心がけてください。
解剖学用語は覚えるしかないので繰り返し学習することで覚えましょう！何度もやれば脳が学習して記憶します。
教科書音読を順番に当てます。当たった人は、他の人にも聞こえるように、はっきり大きな声で読みましょう。

法学Ⅰ(憲法)(1391)	大兼健寛	併修科目・必修 1年 PT　木曜3限

授業のねらい	本科目では、日本国憲法における諸原理について理解し、法学・法律・法令などの概念を学修することを旨とする。一般教養的な憲法原理はもとより、人権意識や、「国家－国民」という構図においてみられる統治という概念に「法」がどのような作用をしているかなど、広い視野で憲法や法令などをみていく。そして、自身の法学に対する考察ができることを目的とする(目標ではない、目的である。

教科書・資料		都度、プリントテキストを配布する。原則、再配布はしない。		
設題	レポート　1	日本国憲法に定める自由権、とりわけ精神的自由権について詳述せよ。	下書	10月15日(木)授業内
	(ポイント)	まず、日本国憲法に定められている自由権にはどのようなものがあるのか述べ、そしてその中でも精神的自由権について詳しく解説すること。さらに、この科目を受講した上での、「自由」というものを丁寧かつ論理的に考察すること。	清書	11月19日(木)授業内
	レポート　2			
	(ポイント)			
	科目終了試験	学修のポイント・1　日本国憲法の法の下の平等について 学修のポイント・2　日本国憲法の基本原理について 学修のポイント・6　日本国憲法における司法権独立について		科目終了試験12月10日(木) 実施予定
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表。		

1	オリエンテーション・日本国憲法の諸原理と「人権」概念
2	日本国憲法の定める自由権①
3	日本国憲法の定める自由権②
4	「法」と「自由」について
5	下書きレポート作成①
6	下書きレポート作成②
7	学修のポイント・1　日本国憲法の法の下の平等について(レポート締切は第8回目授業内)
8	学修のポイント・2　日本国憲法の基本原理について①
9	学修のポイント・2　日本国憲法の基本原理について②(レポート締切は第10回授業内)
10	清書レポート作成
11	学修のポイント・6　日本国憲法における司法権独立について(レポート締切は第12回授業内)
12	法学・法哲学・法思想
13	法と統治の構造、そしてアンチテーゼとしてのアナーキズム
14	科目終了試験対策
15	「法学Ⅰ(憲法)」科目終了試験(持ち込み不可)
	期末試験

成績評価	出　席　率	３０点　80%　以上、出席すること。欠席1回で－10点、遅刻1回で－3点。
	期末試験	５０点　論述式、持込み:可
	授業内評価	２０点　レポート・1200字のまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮して評価する。

備　考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	本講義は、法学という極めて難解で繊細な分野を学ぶ。心して受講せよ。授業中の居眠り・おしゃべり等、学生にあるまじき行為があった場合(勿論、ディスカッション・グループワーク等は除く)、1度目は注意、2度目は退場させた上で欠席とし、学科長と担任教員に報告した上で、個別面談を行うつもりであるので覚悟せよ。また、各学生に法的・政治的・環境的・宗教観的イデオロギーがあるかも知れないが、それを他人に無理矢理押し付けることは許されないことであり、他人の自由権を侵す「罪人」であり、「恥」であることを知れ。

福祉と教育(1332)	吉安 功一	併修科目・必修
		1年
		PT・OT木曜4限

授業のねらい	東京福祉大学は「理論的・科学的能力と実践的能力を統合し、柔軟な思考力と問題発見・解決能力のある人材を育成する」ことを建学の精神としている。この科目では、福祉・教育・保育・心理・医療などを学ぶ基礎的な力を身に付けることを目指すとともに、社会における様々な課題に理解を深め、現代で新たに求められている能力とは何かを探求する。
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。

設題				
	レポート 1	教科書と「ワーク」を通して学んだこと、及び社会福祉を学ぶことの意義について述べよ。	下書	
	(ポイント)	「生きづらい」及び「排除」を扱った各章の内容と重要概念を述べること。具体的には、第1章～第4章の各事例についてそれぞれ述べ、その際に「子どもの貧困」や「周縁化集落」「認知症」「人身取引」の各概念について説明すること。また「排除」という観点から第5章～第8章について各章の内容をまとめ、その際に「社会的排除」「優性思想」「性的マイノリティ」「社会的擁護」の概念について説明すること。その上で、社会福祉を学ぶ事の意義について第9章～第12章の内容を参考に「支える」という視点から自分の将来と関連させながら考えをまとめてほしい。	清書	
	科目終了試験	学修のポイント・1　社会的排除について 学修のポイント・2　子どもの貧困について 学修のポイント・6　性的マイノリティについて	科目終了試験 日程調整中	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	オリエンテーション　及び　第１章～第４章　　「生きづらさ」という観点からの学び
2	第１章～第４章　　「生きづらさ」という観点からの学び
3	第５章～第８章　　「排除」という観点からの学び
4	第５章～第８章　　「排除」という観点からの学び
5	第９章～第１２章　「支える」という視点からの学び
6	第９章～第１２章　「支える」という視点からの学び
7	レポート１　作成指導及び作成（下書き作成）
8	学修のポイント①社会排除について
9	上記　ポイント作成
10	レポート１　作成指導及び作成（清書作成）
11	学修のポイント②子どもの貧困について
12	上記　ポイント作成
13	学修のポイント⑥性マイノリティについて
14	上記　ポイント作成
15	「福祉と教育(1332)」科目終了試験(持ち込み不可)
	期末テスト

成績評価		
	出　席　率	３０点　80%　以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	５０点　持ち込み:可、　論述式
	授業内評価	２０点　提出状況、授業態度を考慮して加算する。

備　考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	運動学Ⅱ	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	金曜・1限
担当教員	笠原　靖子				
授業概要	・①姿勢について②歩行について③運動学習が大きな枠組みになります。この3つの分野に対しての専門用語を覚えてもらうことになります。皆さんは専門用語を説明できるように理解してください。 ・運動学習は理論的な話が多くなります。みなさんが将来的に患者の治療にあたる際にプログラムの立案をする際に非常に重要な内容を含んでいます。				
学習目標	1.バイオメカニクス、姿勢の安定性などの観点から正常の種類と異常姿勢について理解できる。 2.歩行(歩行周期、運動学的分析、筋活動等)について正常範囲と異常歩行について理解できる。 3.ランチョロスアミゴスと基礎運動学での歩行の用語が比較して理解できる。 4.運動学習が理解できる。				

回数			担当教員
1回目	姿勢①	重心、立位姿勢の安定性を理解することができる	笠原　靖子
2回目	姿勢②	姿勢の記載と類型することができる	笠原　靖子
3回目	姿勢③	立位姿勢の正常と異常について理解できる。	笠原　靖子
4回目	歩行①	歩行周期について理解することができる	笠原　靖子
5回目	歩行②	歩行の運動学的分析ができる	笠原　靖子
6回目	歩行③	歩行の分析、筋活動、エネルギー代謝について理解できる	笠原　靖子
7回目	歩行④	小児の歩行、高齢者の歩行、異常歩行について理解できる	笠原　靖子
8回目	小テスト	振り返り　まとめ	笠原　靖子
9回目	運動学習	練習と訓練、運動学習の神経生物学について理解できる	笠原　靖子
10回目	歩行⑤	ランチョロスアミゴスの歩行用語と内容について学ぶ①	笠原　靖子
11回目	歩行⑥	ランチョロスアミゴスの歩行用語と内容について学ぶ②	笠原　靖子
12回目	歩行⑦	ランチョロスアミゴスの歩行用語と内容について学ぶ③	笠原　靖子
13回目	歩行⑧	ランチョロスアミゴスの歩行用語と内容について学ぶ④	笠原　靖子
14回目	歩行⑨	ランチョロスアミゴスの歩行用語と内容について学ぶ⑤	笠原　靖子
15回目	小テスト	振り返り　まとめ	笠原　靖子

教科書及び参考書	基礎運動学　第6版 補訂、観察による歩行分析、歩行分析ワークブック　改定第2版 配布プリント
成績評価	定期試験(70%)　小テスト(30%)　※欠席1回:3点　遅刻1回1点減点とする。

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

姿勢や歩行は理学療法士として常に観察する動作であり、基本的な生活動作としてとても重要になります。姿勢や歩行に関する専門用語の意味や説明ができるようになるのはもちろんのこと、さらに姿勢や歩行について運動力学的に理解することで、人間はなぜ歩けるのかということが少しづつ理解できいるようになります。
運動学習は、人間が運動を覚える為にはどうしたらよいかを学びます。皆さんが理学療法士になってから患者のプログラムを立てる際にどのようにしたら患者に対してより良いプログラムを立てられるのかに役立てていきます。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	死生学	授業形態	(講義) 演習・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	金曜・2限
担当教員	大兼健寛				
授業概要	日本では脳死、尊厳死などに代表される生命の在り方について社会的な関心が高まっている。 本科目では、これらの事柄に対する思索を深めるなかで、「生命」の自己決定について考える。				
学習目標	①死の判定や脳死について理解する②インフォームド・コンセントについて理解する ③ホスピスの役割について理解する④リビング・ウイルについて理解する ①～④の事柄を通して、生命倫理、人の尊厳を幅広く理解する				

回数		担当教員
1回目	ガイダンス、「死」について考えてみる	大兼健寛
2回目	死についての医学的考察・脳死の概要	大兼健寛
3回目	インフォームド・コンセントの概要	大兼健寛
4回目	リビング・ウイルの概要	大兼健寛
5回目	死の判定や脳死、告知やリビング・ウイルにおける課題①	大兼健寛
6回目	インフォームドコンセントにおける知る権利①	大兼健寛
7回目	インフォームドコンセントにおける知る権利②	大兼健寛
8回目	ホスピスの役割①	大兼健寛
9回目	ホスピスの役割②	大兼健寛
10回目	リビング・ウイルにおける「死を自分でデザインする」について①	大兼健寛
11回目	リビング・ウイルにおける「死を自分でデザインする」について②	大兼健寛
12回目	死の判定や脳死、告知やリビング・ウイルにおける課題②	大兼健寛
13回目	もう一度、「死」ついて考えてみる	大兼健寛
14回目	テスト対策	大兼健寛
15回目	まとめ（小テスト）	大兼健寛

教科書及び参考書	星野一正『医療の倫理』岩波新書
成績評価	出席率30%、期末試験50%、授業内評価20%

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

グループディスカッションを取り入れた授業を行いますので、主体的に取り組んで下さい。
レポート等提出物の締切は厳守して下さい。
「死」について、他人ごとではなく、自分ごととして捉え、しっかり取り組んで下さい。

死生学(1951)	大兼健寛	併修科目・必修
		1年
		PT金曜2限

授業のねらい	今日、日本では脳死、臓器移植、尊厳死などに代表される生命の在り方について社会的な関心が高まっている。本科目では、これらの事柄に対する思索を深めるなかで、一般的な死生学の思想や実践とは何かを考察し、その上で死、苦、老の問題や生命倫理における倫理的ジレンマ、意思決定などの諸側面について言及する。また、死の背後にある宗教観、倫理観についても諸外国の例を紹介しながら考察を深める。
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。

設題				
	レポート 1	「生命」の自己決定に関する事柄について意見を述べよ。	下書	10月22日(金)授業内
	(ポイント)	死の判定や臓器移植、さらには告知やリビングウィルなどの事柄を通して、自分が気が付いた事や考えた問題点、課題を明らかにすること。	清書	11月27日(金)授業内
	レポート 2			
	(ポイント)			
	科目終了試験	学修のポイント・3　インフォームドコンセントについて 学修のポイント・4　ホスピスの役割について 学修のポイント・5　リビング・ウィルについて		科目終了試験 12月18日(金)実施予定
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	ガイダンス、「死」について考えてみる
2	死についての医学的考察・脳死
3	インフォームド・コンセント
4	リビング・ウイル
5	下書きレポート作成
6	学修のポイント・3　インフォームドコンセントについて
7	1250字レポート作成＆締切
8	学修のポイント・4　ホスピスの役割について
9	1250字レポート作成＆締切
10	清書レポート作成
11	学修のポイント・5　リビング・ウィルについて
12	1250字レポート作成＆締切
13	古今東西の「死」の概念について
14	科目終了試験対策
15	科目終了試験
	期末試験

成績評価			
	出席率	３０点	80%　以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	５０点	持ち込み:可、　論述式
	授業内評価	２０点	提出状況、授業態度を考慮して加算する。

備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０％以上が求められます。８０％を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	動作分析学 I	授業形態	講義 (演習) 実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	金曜・3限
担当教員	平間　亮				
授業概要	疾患や外傷で、我々の日常生活は大きな影響を受ける。それは日常生活動作の遂行が困難になったことに起因している。理学療法士は、その動作遂行困難になった原因をみつけ出し、治療につなげる必要がある。しかし、その原因をみつけ出すことは容易ではない。観察で得られる正常動作と異常動作の違いは、単なる現象の違いであって、そこに原因が存在する可能性は低い。原因を効率よく的確にみつけ出すためには、動作観察を動作分析に結びつけ、動作を可能とするメカニズムのどこが障害されているかを把握することが絶対的に必要となる。人間の動作は外的環境に適応して動作を引き出している。日常生活で人が動くとき、身体重心をどのようにコントロールしているか、すなわち正常動作のメカニズムを理解することで異常動作の原因をみつけ出せるようになることを目標とする。				
学習目標	動作観察ができるようになる(観察したことをポイントを押さえスティックピクチャーを作成できる) 重力下での人の動きを理解する(重心と床反力の関係を理解する) 正常な姿勢制御のメカニズムを理解する 正常歩行の基本(運動学)を理解する 正常歩行のメカニズム(動作分析)を理解する。				

回数		担当教員
1回目	動作分析が臨床の現場でどのように役立つのか理解する。	平間亮
2回目	バイオメカニクス(ニュートンの法則、釣り合い、モーメント、床反力)について	平間亮
3回目	寝返り動作の正常動作(屈曲・伸展パターン、相)と異常動作について	平間亮
4回目	起き上がり動作の正常動作(長坐位・座位パターン、相)と異常動作について	平間亮
5回目	起立・着座動作(上肢機能の影響、相)と異常動作について	平間亮
6回目	相別による歩行時の関節運動、筋活動、床反力について	平間亮
7回目	歩行動作を可能にするメカニズム(ロッカー機能、重心移動)について	平間亮
8回目	異常歩行(動揺性歩行、鶏歩、膝折れ、内反尖足、分回し歩行)について	平間亮
9回目	小テスト、まとめ	平間亮
10回目	スティックピクチャー作成方法と動作撮影について	平間亮
11回目	動画よりスティックピクチャーの作成	平間亮
12回目	変形性膝関節症の起立動作を観察してスティックピクチャーの作成	平間亮
13回目	筋萎縮性側索硬化症の歩行動作を観察してスティックピクチャーの作成	平間亮
14回目	VAICON体験し床反力をどのように計測できるか確認する。	平間亮
15回目	まとめ	平間亮

教科書及び参考書	観察による歩行分析、授業資料
成績評価	定期試験(70%)、小テスト(10%)、課題(20%)出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

動作分析は理学療法士に必須の知識となるため、必ず授業毎に復習して、疑問点は必ず質問して理解してください。先の臨床実習で実習指導者が行う治療プログラムは動作分析をもとに考えられています。理解できないと実習指導者の説明の理解が困難になります。運動学と同期する内容があるため、結びつけて学習しましょう。